

### 3. 誰もがいきいき暮らせる健康・医療・福祉の推進

#### (1) 健康づくりの促進

令和7年度は、「みんなで支え合い、守ろう笑顔と健康」を基本理念とした、第2期八雲町健康増進計画に基づき、町民一人ひとりが健康であることの喜びを実感し、心豊かな生活を送ることができるよう、病気の早期発見・早期治療を目的に特定健診や各種がん検診の受診勧奨を行うとともに、複数の健診が同時に受診できる体制づくりに努め、受診率の向上を図ってまいります。

また、さまざまな合併症を引き起こす原因となっている、糖尿病の発症と重症化予防へ力を注ぎ、一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、生活習慣病の改善に向けた取り組みができるよう、健康イベントや健康づくり教室等、各種保健事業を通して健康づくりに関する知識の普及啓発に取り組んでまいります。

さらに、高齢者が身体的、精神的活動性を維持し、いつまでも生きがいのある生活を送ることができるよう、通い

の場等におけるフレイル予防教室の実施に努めてまいります。

#### (2) 医療体制の充実

八雲総合病院では、常勤医師の確保に苦慮しており、特に内科常勤医師の不足から非常に厳しい経営環境が続いております。引き続き医師確保を最優先課題として対応してまいります。

医療圏域における人口減少の加速や少子高齢化、診療報酬改定等、地域医療を取り巻く環境が刻々と変化する中、その医療環境に対応しながら地域の基幹病院として果たすべき役割を明確にし、経営改善の取り組みを進め持続可能な経営を実現することで、地域の皆さまに安心して暮らしていただけるよう、尽力してまいります。

熊石国保病院は、住民から信頼されるかかりつけ病院として、高齢化が進む地域住民のニーズに対応した良質な医療サービスの提供に努めてまいります。

新病院の開院は令和7年8月を予定しているところであり、将来にわたって地域住民が望む安全・安心な医療を提供し、医療圏域での役割を

担っていくため、病院経営の健全化に一層努めてまいります。

#### (3) 地域福祉の促進

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、地域住民が互いに思いやりをもって支えあう活動が重要になってまいります。各町内会や民生委員協議会等関係団体と連携しながら、地域の活動等を通して人々の結びつきを深めるための声掛けや見守りが推進されるよう支援するとともに、社会福祉協議会と連携を図り、ボランティア団体の各種活動や相談、人材確保への支援に努めてまいります。

また、近年のエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける生活者のうち、住民税非課税世帯に対し3万円を給付し、あわせて世帯員である18歳未満の児童一人当たり2万円を追加給付する生活支援を実施してまいります。

#### (4) 高齢者福祉の推進

八雲町の高齢者人口は、減少に転じておりますが、高齢化率は36%を超え、後期高齢者人口も3,000人に迫り、総人口に占める比率も20%を超えるなど、今後も高齢化の

進展が見込まれています。

令和5年度に策定した「八雲町高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して健やかに暮らし続けられる地域社会を目指し、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組むとともに、介護サービス利用者の支援にあたっては、利用者のみならず家族介護者の支援も重要であるとの視点に立ち、支援を行ってまいります。

また、認知症ケア体制の強化を図るため、認知症の人やその家族が「いつ」「どこで」「どのような」医療・介護サービスを受けられるのか、認知症の進行度合に応じたサービス提供の流れをまとめた「認知症ケアパス」の周知を図ってまいります。

#### (5) 子ども・子育て支援の強化

令和7年度からは、第3期目となる「子ども・子育て支援事業計画」がスタートし、本計画に基づき各種子育て支援事業を推進してまいります。未就学児童については、保育園・認定こども園・幼稚園との連携を図りながら、園・保護者への支援を継続すると

ともに、時代のニーズに合わせた対応ができるよう必要を取り組みを進めてまいります。また、学童保育所の運営については、現状の受け入れ体制を継続するよう努め、共働き世帯など子育て世帯が働きやすい環境を整えてまいります。

子育て支援センターでは、未就学児童の一時預かり事業などの各事業を実施し、また児童虐待防止、不登校やひきこもりなどの子ども・若者支援について、関係機関と連携を図り取り組んでまいります。発達支援センターは、発達の遅れや障がいのある児童とその家族を支援するため、児童相談所や医療機関などの関係機関と連携し、発達相談や療育事業の充実に努めるほか、発達障がいの特性を理解していただくための講演会などを開催してまいります。

各種子育てに対する支援の取り組みを進め、保護者が必要とする支援を充実させ、子育てがしやすい町となるよう努めるとともに、少子化の進展など社会情勢の変化に応じた新たな支援策を検討してまいります。